

閲覧ニュース

47号

1985.12



マルク・シャガール「花と芸術の町, ヴェンス」

『幼い頃から、私は、聖書の虜になってきた。私にはつねに、聖書が古今を通じ詩思の最大の源泉であると思われてきた。爾来、私は人生と芸術の中にその反映を捜してきた。聖書は、自然の響きの如きものであり、その神秘を私は伝えようとしたのだ。私は、生涯、おのれの力の許すかぎり、この遥かな夢想との一致を求め、絵を描いてきた。とはいえ時には、自分が、いわば天と地の間に生まれおちた、全くの他者であり、世界は、私の魂が松明のようにさまよっている巨大な砂漠のようなものだ、と感ずることもある。私が、この建物にこれらの作品を残すことを望んだのは、人々がここに、ある平安、精神性、宗教的感情、生の意味を見出すことができたらの気持からである。……………』

もし、あらゆる生が、避けがたく死に向かうものだとすれば、私たちは生ある間、それを私たちの愛と希望の色で彩らねばならない。この愛の中に、人生の社会的論理、あらゆる宗教の本質がある。私にとって、芸術や人生における完成は、この聖書の源泉に由来するものである。この精神なくして、たんに機械的な論理と構成のみでは、芸術においても人生においても、実りはない。……………』

(国立マルク・シャガール聖書美術館カタログ巻頭言より)

『シャガールの聖書』(禁帯出 193.1/P94)

1985. 4刊 岩波書店

●総記

戦後を読む 安田武著 白水社 019.1/Y62
 知る権利—現代の新聞自由—
 千葉雄次郎著 東京大学出版会
 070.13/C42

●哲学

笑いと泣きの人間学
 H.プレスナー著 滝浦静雄〔等〕訳
 紀伊国屋書店 114/P72
 若きヘーゲルの思索
 佐々木孝洋著 九州大学出版会
 134.4/Sa75

記号論理学

清水義夫著 東京大学出版会
 116.3/Sh49

母性社会日本の病理

河合隼雄著 中央公論社 145.9/Ka93b

流行論

山口昌男著 朝日出版社 162/Y24

●歴史学

萬葉の時代 北山茂夫著
 岩波書店 210.3/Ki72a ㊦
 古代日本を発掘する 全6巻
 田中琢〔等〕編 岩波書店
 210.3/Ko17/1-6

大英国—歴史と風景—

L.カザミヤン著 手塚リリ子〔他〕訳
 白水社 233/C27

進歩がまだ希望であった頃

—フランクリンと福沢諭吉—
 平川祐弘著 新潮社 289/H64

湯川秀樹

桑原武夫〔他〕編 日本放送出版協会
 289/Y97

●社会科学

憲法の歩み 池田政章編
 有斐閣 323.12/I32

経済学は現実にかたえうるか

伊東光晴著 岩波書店 331/I89j

家族の時代—ヨーロッパと日本—

木村尚三郎著 新潮社 361.4/Ki39

教育はどこへ

永井道雄著 朝日新聞社 370.4/N14

ピーター・パン・シンドローム

ダン・カイリー著 小此木啓吾訳
 祥伝社 371.47/Ki29

文化人類学入門

石田英一郎著 講談社 ㊦389/I72 ㊦

●自然科学

教養課程 線形代数学

笠原皓司著 サイエンス社 411.3/Ka71

計算機科学入門

M.アービブ〔等〕著 甘利俊一〔等〕著
 サイエンス社 418.6/A67

力 学

小出昭一郎著 岩波書店 423/Ko29 ㊦

化学基本用語辞典 独—日—英

富松祥郎〔等〕編 同学社 R.430.3/Ka16

学問の創造

福井謙一著 佼成出版社 430.4/F76

酵素化学入門

P. F. Leadlay 著 丸山清史訳
 丸善 430.8/Ka16e/3

電子顕微鏡分析法

滝山一善著 共立出版 433/Ta73

星を近づけた人びと 上・下

齊田博著 地人書館 440.4/Sa23/1-2

生命物質

丸山工作著 日本放送出版協会 464/Ma59a

ビタミンの話

勝沼恒彦著 東海大学出版会 464.57/Ka88

右脳と左脳のはなし

セルゲーエル著 阿部光伸訳
 東京図書 491.371/Se82a

図説免疫—免疫応答のしくみ—

柏木登, 大谷文雄共著

日経サイエンス社 491.8/Ka77

表と裏

土居健郎著 弘文堂 493.7/D83b

だれのための薬か—社会薬学序説—

高野哲夫著 海鳴社 499.2/Ta47

●工学・技術

比較血液型学

池本卯典 向山明孝〔共〕編

裳華房 649.4/H57

現代日本インテリアコーディネート大系

1—2

日刊工業新聞社 529/N73/1—2

●芸術・体育

「もの」の詩学—ルイ十四世からヒトラー

まで— 多木浩二著

岩波書店 701.4/Ta71a

世紀末の夢—象徴派芸術—

P.ジュリアン著 杉本秀太郎訳

白水社 702.06/J93

アルブレヒト デューラー —生涯と芸術—

E.パノフスキー著 中森義宗〔他〕訳

日貿出版社 723.34/D98d

マリア・カラス—ひとりの女の生涯—

ピエール＝ジャン・レミ著 矢野浩三郎訳

みすず書房 762.53/C13a

スポーツ社会学講座 全3巻

菅原禮〔等〕著 不昧堂出版 780.13/Su75/1—3

原色茶道大辞典 第9巻

淡交社 R 781.03/G34

●語学

時代別国語大辞典：室町時代編 全4巻

三省堂 R 813.1/J 48a/1—4

通じる英語—Idioms for business—

ジャーロット・マカドール著 井上謙治編訳

新潮社 834.4/Ma13

現代ドイツ文法

G.ヘルビヒ著 在間進訳

三修社 845/H51a/T ㊦

中川・ドイツ文法詳説 第3版

中川清三著 三修社 845/N32 ㊦

●文学

万葉の女人たち

樋口清之著 講談社 ㊦ 911.12/H56 ㊦

いかに木を殺すか

大江健三郎著 文芸春秋 913.6/Ki97

生き方の定義—再び状況へ—

大江健三郎著 岩波書店 914.6/O18

書物の夢 夢の書物

清水徹著 筑摩書房 914.6/Sh49

アーサー・ミラー全集 全5巻

A.A.ミラー著 高橋健訳

早川書房 932/Mi27/1—5

グリム兄弟とロマン派の人々

ルースミハエリスジェイナ著

川端豊彦訳 国書刊行会 940.28/G86

●新書

変動する日本列島 藤田和夫著

岩波新書 306

経済データの読み方

鈴木正俊著 岩波新書 307

量子の不思議—不確定性原理の世界で—

原康夫著 中公新書 751

水害—治水と水防の知恵—

宮村忠著 中公新書 768

風景の現象学—ヨーロッパの旅から—

内田芳明著 中公新書 770

電子時代の整理学—事務機器を点検する—

加藤秀俊著 中公新書 772

対話のレトリック

向坂寛著 現代新書 773

生き方のコモンセンス

P.ミルワード著 別宮貞徳著 現代新書766

ソウルの夏

林 憲 二

八月下旬、「第14回・物理学における群論的方法の国際会議」に参加するため、お隣の国、韓国はソウルへと赴いた。かねがねこの国は訪れてみたいと思っていたが今迄機会に恵まれなかった。それで期待感が高まっていたが、なにしろ例の日航ジャンボ機の大惨事の直後であり、とても心安らぐ旅という訳には行かなかった。

飛行機にはジャンボ機を含めて相当回数乗っているが、それまで一度も事故らしい事故に出会ったことがなかった。確率的に言えばほとんど0に近い。しかし、だからといってソウル行きジャンボ機が今度も無事であるという保証はなにもない。この大事故のせいで今後、旅をするときは多少ながらも運命論的な考察にふけるといいうのも、考えて見れば悪くない。

さて東京から2時間足らずの空の旅のあと、無事、金浦国際空港に着いた。空港には会議関係者がつめかけ参加者を手際よく案内していた。

最近、国際会議をホテルで開催するのが流行になっているが、このときも御多分に漏れずシェラトン・ウォーカーヒル・ホテルで開かれることになっていた。ホテルはソウル市の東方、約20Kmの所にあり、漢江に面している。空港はソウル市の北西方向、25Kmほどの所にあるので随分の道程である。そのおかげでタクシー車中からソウル市の近代的な一側面を眺めることができた。

ウォーカーヒルとは文字通り小高い丘陵地であり、敷地は約17万坪という広さである。ホテルはその中核を占め、そのまわりをブー

ルなどのリゾート施設が取巻く大遊興センターである。このコンGRES・ホールが会場であった。

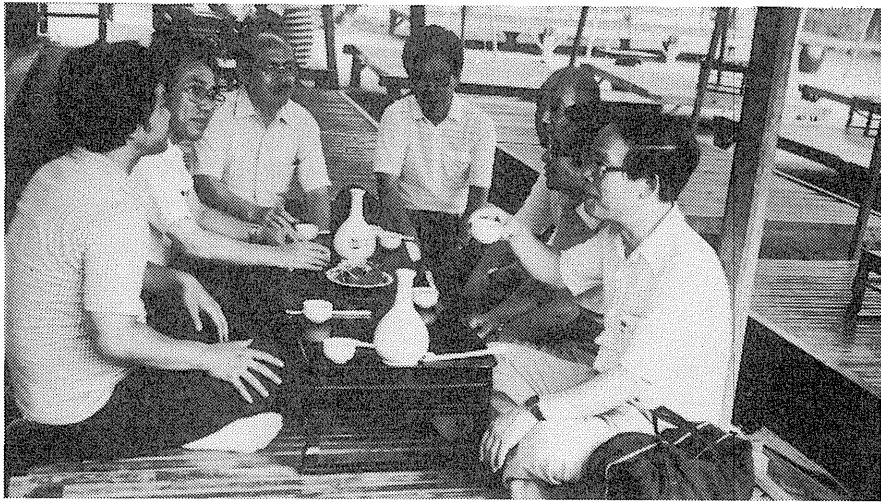
開会式には文部大臣をはじめ、各種公共機関の長の挨拶が述べられた。ここまでは(多少のエキサイトメントは感じられたにしても)まず普通であったが、その後に報道陣がどっと押しよせた。新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などの取材のためかひどい状況であった。もともとの会議と報道陣との関係はほとんどないといってよい。

別の見方からすれば、こういう報道陣の熱狂ぶりからこの会議を成功させようとする韓国の熱い期待と緊張ぶりがうかがわれる。88年のオリンピックを控えて、韓国での数少ない国際会議への対応といえはこのようなものではないだろうか、などと思ったりする。

また、この種の期待が間違いなく存在することが感じられたのは、参加者をねぎらい、主催者側の歓迎ぶりを示すパーティである。大抵この種のパーティは1回限りであるのに3回も開かれた。初日の組織委員会会長主催のレセプション・パーティ、中日の韓国物理学会会長主催のパーティ。しかもそのあと、ちょうどソウルに来ていたアメリカ人のショウ・グループによるアイス・ショウまで見せてくれるおまけがついていた。最後は秘苑での野外パーティである。

会議の日程は予定通り消化されていった。会議の内容を逐一報告するより、ここではその合間をぬうようにして訪れた景福宮の印象にあてたい。

小さいとき育てられた京都の街には多くの



由緒ある寺があった。中でも近所の広隆寺にはちょくちょく遊びに出かけた。宝物殿には弥勒菩薩の半跏思惟像が2体あり、それらは飛鳥時代に木で造られたという。その他にも時代は少し下るが平安時代に造られた不空罽索観音の立像(これも好きな仏像の一つである)、本尊阿弥陀如来の座像や千手観音の立像などがある。この弥勒のそっとほおによせた指先の優雅さ、何やら考え込むような姿勢、少しうつむきかげんの柔和な顔立ち。腰のまわりから足の先にかけての何ともしやうのない美しさ、ほとんど官能的ともいえる美しさには、ついうっとり見とれてしまうのであった。

材質は朝鮮赤松であるという。初期の仏教美術が、中国から朝鮮へ、そして日本へと渡来したというのは通説であるが、この弥勒菩薩がソウル北部、景福宮内部の国立中央博物館にある弥勒菩薩と深い関係で結ばれているという話を聞いたとき、是非それを見たいと思ったのである。

確かにこの弥勒菩薩も美しいが、金属製(多分、銅だと思う)である。この弥勒がとりもつ縁で急に朝鮮と日本との関係が深くなったようだ。そういえば広隆寺の近くの地名が何となく異国的に響く。いわく、太秦(う

ずまさ)、車折(くるまざき)、帷子の辻(かたびらのつじ)などである。

実は後日、ソウル市在住の有力者が、朝鮮料理で有名な韓一館で宴を開いてくれた。ブルゴギをつつきながら、上の話をする、待ってましたとばかり、「扶余に行きなさい」と言われた。この有力者によると、奈良、平城京、……なんでも朝鮮がルーツであると主張する。最初、静かに聞いていて随分と宣伝臭の強い話だと思った。所が段々と話に熱を帯びてくる。口調も今や説得調となる。ついには話にあてられたのか、考えこむようになっていた。これでは何としてでも扶余に行かずばなるまい、と心に決めた。

こういう次第で扶余行きという大きな宿題をかかえて戻ってきたが、もはや紙数も尽きた。朝鮮料理についてはまた別に書きたい。

最後に今回のソウル行きには多くの人達の援助があったことを付け加えておきたい。特に立川先生には色々な面で大変お世話になった。ここに記してお礼を述べておきたい。

なお、ここにある写真は、ソウル市南方、約50Kmの水原市の韓国民俗村を訪れたときのものである。同村内で作られた新酒を愛でている所。(物理学)

冬休み中のお知らせ

1) 長期貸出

貸出期間 12/12 (木) ~ 1/10 (金)
冊数制限はありません。(但し雑誌は通常の貸出です)

2) 開館時間

12/16 (月) ~ 12/25 (水)
1/6 (月) ~ 1/8 (水)
平日: 9時から5時まで
土曜日: 9時から1時まで
1/9 (木) ~
平日: 9時から6時まで
土曜日: 9時から1時まで

3) 閉館

12/26 (木) ~ 1/4 (土)

閲覧証を受け取っていない方へ

既に何度もお知らせしましたが、閲覧証を受け取りに来ていない方が、まだかなりおります。来春、各学部に進学されても各図書館で必要となるものです。今年中に来られない方は処分しますので御了承下さい。なお、再発行につきましては300円の手数料を頂きます。

別置図書について

講義に使われる参考書類をまとめた講義用参考文献コーナー、ゼミの学生のために先生

がたより提出されたリストをもとにまとめたゼミ用図書のコーナー、また岩波新書、中公新書、講談社現代新書などの新書コーナーもあります。これらは一般書架とは別の配置をして利用の便をはかっております。

文庫本は他の図書とは判型が異なるため別に文庫本コーナーにまとめて排架されております。

利用方法、貸出期間等は一般図書と同様です。どうぞ御利用下さい。

新聞架を新しく設置しました

以前、新聞とじてとして排架しておりましたが、ネジやスプリングがこわれやすく不都合となりましたので新しい新聞架を購入しました。また、図書館外のロビーにおいてありました地方新聞も中にあります。読んだ後は元の位置にもどして下さい。

雑誌係より

新規購入 (1986年1月号から)

「The English Journal」 月刊 櫛アルク
「トランジスタ技術」 月刊 CQ出版

改題

「法セミ」 旧誌名 「法学セミナー」
「経セミ」 " 「経学セミナー」
「数セミ」 " 「数学セミナー」

以上3点とも日本評論社発行、本年10月号から変更。

閲覧ニュース47号

1985.12発行

北里大学教養図書館

発行責任者 吾妻寛治

〒228 相模原市北里1-15-1